

第1回三国間農業大臣会合共同声明（仮訳）

2012年4月14日から15日にかけて、第1回日中韓農業大臣会合が韓国済州島にて開催され、中華人民共和国の韓長賦農業部長、日本国の鹿野道彦農林水産大臣、大韓民国のソ・ギュヨン農林水産食品部長官が出席した。

三大臣は、農業は人類に健康と幸福をもたらす食料供給としての機能のみならず、農地保全、生物多様性の保護を含む多面的機能を有する重要な産業であるとの共通認識に至った。併せて、三大臣は、一致結束し、三国間の強化された協力を通じて、自国の持続的な成長に貢献することとした。

三大臣は、三カ国は小規模な農業経営、農地面積・農家数の減少、高齢化、環境劣化等の困難に直面している一方、持続可能なレベルでの農業生産や生産性の向上を通じた食料安全保障の確保、農業技術の革新、自然災害への対応に対処することが求められていると認識した。

三大臣は、食料安全保障、動植物防疫、自然災害への対応、研究者交流プログラム及び日中韓経済連携や地域及び国際レベルの協力について深く議論を行い、これらの問題について協調して解決を図ることを目指し、以下の合意に達した。

- 三国間でのシンポジウムの共催等を通じ食料安全保障に関する農業政策の情報交換、研究者交流、共同研究の機会の追及を行う一方、AFSIS、APTERR、APIPを含む地域及び国際レベルにおける、食料安全保障問題に関する三国間の協力の促進に重点的に取り組む。

- アジアで頻発する口蹄疫や鳥インフルエンザ等の動植物疫病に関する状況の把握と情報交換を行うとともに、共同の対応努力として動植物疫病の管理・防止の枠組の可能性を検討する。
- 自然災害に関する情報共有を図るとともに、三国協調による自然災害の防止、軽減、自然災害により被害を受けた農業生産の回復に努める。
- 研究者の交流の促進や、共通課題の情報共有のための共同研究、ワークショップ・シンポジウムの開催についての三国間の協力状況を評価する。
- 有り得べき日中韓経済連携を通じ、持続可能な農業を目指しつつ、農産物貿易を促進する。
- FAO、G20、ASEAN+3、APEC 等の地域レベル、国際レベルのフォーラムにおける、三国間の協力関係を強化する。

三大臣は、第1回日中韓農業大臣会合が、各国の発展、成長のみならず、北東アジアの平和と世界の繁栄にも貢献する機会であることに強い希望を表明した。

三大臣は、日中韓農業大臣会合を毎年持ち回りで開催することに同意した。第2回日中韓農業大臣会合は2013年中に日本で開催の予定である。